

# がんセンター 便り



宮城県立がんセンター地域医療連携室

## がん情報ラジオについて



当センターでは、がんセンターのスタッフががんに関する話題を紹介していくラジオ番組「がん情報ラジオ」をエフエムなとりにて放送しています。放送時間は、毎週金曜日夕方5時30分から5時43分、翌日土曜日の午前9時16分から9時29分に再放送も行ってあります。また、がん情報ラジオはYouTubeにて過去放送分もすべてご視聴いただけます。がん情報ラジオでご検索いただくか、右記のQRコードからご視聴いただけます。QRコードを読み取りチャンネル登録をしていただくと幸いです。1月は「がん治療と女性ホルモン」について婦人科の大友圭子医師と渡辺由香里看護師、2月は「前立腺がんの診断と治療」について泌尿器科の川村貞文医師でお送りします。



## 外来新患診療体制表

2020年11月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	日	月	火	水	木	金
血液内科		●	●		●	●
腫瘍内科		●		●		●
呼吸器内科		●	●	●	●	●
消化器内科		●	●	●	●	●
頭頸部内科			●	●		
緩和ケア内科			●	●		●
呼吸器外科			●			●
消化器外科			●			●
乳腺外科		●			●	
整形外科			●		●	
形成外科			●			●
脳神経外科		●		●		●
泌尿器科		●		●	●	
婦人科		●	●		●	
頭頸部外科		●	●		●	
放射線治療科		●	●	●	●	

診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151 (代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)

## 消化器がんのダヴィンチ手術を開始しました

消化器外科診療科長 三浦 康

2020年現在、当センター消化器外科には藤谷恒明副院長をはじめ、三浦康、岩指元、木内誠、長谷川康弘、木村俊一、茂呂浩史の7名のスタッフ医師が在籍し、消化器がんの外科診療に取り組んでいます。

当センターでは2019年9月から泌尿器科の前立腺がんのダヴィンチ手術(ロボット手術)を開始し、さらに膀胱がんのダヴィンチ手術にも取り組んで、着実に症例を重ねてきました。このダヴィンチ手術システム(インテュイティブサージカル合同会社)では、術者は患者と離れた場所で、超拡大3D画像を見ながらアームを操作して手術を行います。アームに取り付けられた鉗子の先端は人の手の可動域を超えた動きを可能にし、手振れ補正機能があることから、ダヴィンチ手術システムは精緻かつ高度な手術を可能にします。

本邦では、ダヴィンチ手術は前立腺がん、腎がんの手術に加えて、2018年には肺がん、食道がん、胃がん、直腸がん、膀胱がん、子宮がんなどの12の術式で保険適応になり、2020年1月にはさらに膵がんなどにも適応が拡大されました。

消化器外科領域では、日本内視鏡外科学会が定める内視鏡手術技術認定資格を有する外科医がさらに高度な修練を積んで、ダヴィンチ手術の資格を取得しています。このように、内視鏡手術をさらに発展させるかたちで、ダヴィンチ手術はさらに普及していくと考えられています。

当科では2020年に入って木内誠医師が直腸がんのダヴィンチ手術に取り組み、保険診療のもとで手術件数を急速に伸ばしています。とくに下部直腸がんなど高難度の手術に取り組める態勢を整えています。また2020年9月からは長谷川康弘医師が胃がんのダヴィンチ手術に取り組み、手術件数を重ねています。東北6県で消化器がんのダヴィンチ手術に取り組む医療機関は現在10施設であり、取り組む消化器外科医は数えるのみであり、当センターを受診する消化器がんの患者さんにトップレベルの外科治療を提供してまいります。

当センターではさらに、呼吸器外科、ほかの診療科でも、ダヴィンチ手術を行う態勢を整えています。今後ともよろしくお願いいたします。



向かって左より 後列：茂呂浩史 木村俊一 長谷川康弘 木内誠  
前列：岩指元 藤谷恒明(副院長) 三浦康(診療科長)



ダヴィンチ手術の手術風景

## 交通案内

J 桜交 R 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用  
仙南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用  
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用  
仙台南インターからは、国道286号バイパス経由  
県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

## 地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152(直通)
- (022) 384-3151(代) 内線123
- FAX (022) 381-1169(地域医療連携室)

**宮城県立がんセンター**  
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1  
電話(代表)(022)384-3151 FAX(企画総務課)(022)381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。



# 整形外科とがん診療

## —「がんロコモ」への取り組み—

整形外科診療科長 保坂 正美

整形外科は運動器の疾患を主に治療しておりますが、65歳以上の高齢者人口が28.7% (2020年)という世界第1位の超高齢社会を迎えた我が国において、特に変性・加齢疾患(膝・股関節の変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症など)の患者さんが増加しております。がんの患者さんも高齢社会の進行および治療の進歩に伴い増加しており、一般整形外科医が骨転移を有する患者さんの対応をすることも稀ではありません。当院での整形外科診療の現状ならびに近年提唱されている「がんロコモ」への取り組みについてお話しいたします。

### ■治療の対象となる疾患について

当科では骨・軟部腫瘍(原発、転移含め)全般、腫瘍と鑑別を有する疾患(炎症、感染など)の診断、各種がんの治療に伴う二次的障害(薬物療法後の骨粗鬆症、照射後骨炎など)を主な診療対象としております。がん治療中の患者さんの一般整形外科的な対応も行いますが、必要に応じて地元の先生方と連携させていただいております。

### ■診療体制について

鈴木一史、保坂正美の2名の常勤医と、東北大学からの応援(週3日)で診療を行っております。急ぎの場合はいつでもご連絡いただければ幸いです。

### ■外来診療について

週3日(火、木、金)で火・木は院外新患日です。宮城県および福島県浜通りを中心に多くの患者さんを紹介いただいております(令和元年度新患紹介463名)。エコーや生検を積極的に行っております(令和元年度エコー568件、針生検154件)。

### ■病棟診療について

入院症例は関連部門と連携しながら、原発性骨・軟部腫瘍の手術や化学療法、がん骨転移の原発巣検索(CTガイド下生検含め)、放射線治療、緩和治療を中心に行っております。

### ■骨転移の治療について

骨修飾薬(デノスマブ、ゾレドロン酸など)投与と照射をまず考慮しますが、適応があれば手術を行います。特に病的骨折(特に大腿骨、骨盤、脊椎)と脊髄麻痺が大きな問題です。生命予後・パフォーマンス ステータス(PS)・全身状態・治療の意志を確認の上、治療方針を決定しております。脊髄麻痺により緊急手術の適応がある場合は、東北大学脊椎グループと連携して診療にあたっております。

### ■「がんロコモ」への取り組み

「ロコモ」とはロコモティブシンドロームの略で、運動器症候群と呼ばれます。運動器障害により移動機能の低下をきたした状態を指し、進行すると介護のリスクが高まります。「がんロコモ」とは、「がんとロコモティブシンドローム」の略であり、がん自体あるいはがんの治療によって「ロコモ」を呈する状態です。原因として、1. がんそのものによるもの、2. がんの治療による筋力低下や神経障害など、3. がん以外の運動器疾患(特に骨粗鬆症、変形性関節症などの変性疾患)が、がんによって悪化した状態、の3つが含まれます。当科では、このような「がんロコモ」の患者さんに適切な運動器マネジメントを行い「動ける状態」を維持することを大きな目標として日々取り組んでおります。



2020年11月、病院玄関前にて撮影  
向かって左 鈴木一史 ・ 右 保坂正美(診療科長)

# 「総合がん検診」

## 自由診療でやっています

総合がん検診センター長 玉井 恵一



文字通り「ノーベル賞級の」発見であったオプジーボをはじめ、がんの治療は日進月歩ですが、それでも完治できるがん治療は極めて限られたものです。発生してしまったがんを根絶するためには、今も昔も「早期発見」が必須です。

胸部間接撮影や胃透視といった、国が推進する対策型検診が展開されても、高齢化のすすむ日本では生涯のうち二人に一人はがんに罹患することが予想され、健康意識の高まりと相まってがんへの不安はなくなりません。対策型検診が費用対効果に優れていることは論を俟ちませんが、さらなる安心を求めるニーズに対して、何ができるのでしょうか？

当院ではPET-CTを中心とした「総合がん検診」を2015年から開設しました。がん専門病院としての診断精度の高さは自負するところであり、これまでの実績では受診者のうち約4%ががんと診断されています。

家族ががんになったから・職場検診をついさぼってしまうから・大切なひととできるだけ長く一緒にいたいから、さまざまな理由で当センターを受診されます。自由診療ならではの快適な受診環境(待合室はほぼ個室)・丁寧な検査(完全予約制でお待たせしません)・説明(不安な方には日を改めてでもご説明します)は高い評価を頂いてきました。また、がん疑診に対する追加精査は、当院専門医へほぼ「ノンストップ」でご紹介します。

多くの患者さんのご紹介をお待ちしております。電話・メール・インターネットいずれでも予約が可能です。

### ■コースのご案内

シンプル1日コース:PET-CT・腹部超音波・血液検査などの最小コース  
充実2日コース:上記に上部内視鏡を加えました。乳がん検診・子宮癌検診も選択可能です。

詳しくはWebをご覧ください。



荒木ひろえ(看護師) 玉井恵一(センター長)